

領域実践交流シート

石狩市立浜益小学校 田中 2016/9

<p>見つかった課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・浜益小学校は僻地3級の遠隔地の学校にしては札幌市、石狩市、千歳市、北広島市などで出席しなければならない会議が比較的多い。 ・配分される旅費に限りがある中で、出張、外勤、研修、有欠等の判断をどうするか基準もなく、また札幌市内から浜益への通勤をしている職員もいるので、どこまで実態にあわせれば良いのかが不明だった点もあり管理職に聞かれても自分では判断しづらかった。
<p>課題解決に向けた行動の経過</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配分旅費の追加配分を見込んで出張にする事はせずに外勤、研修等で処理して、その後に追加で配分されたら出張に切り替える事や職員の単身赴任や居住地からの直行直帰など、実態にあわせて個別に判断する事を職員に周知した。 例えば、夏季休業中の研修会は研修で処理し、追加配分があれば出張に変更、札幌に在住の職員が札幌で開催の会議に参加の場合に直行直帰なら外勤、学校を出発の場合は出張で処理する等
<p>行動する上で見えたこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出張、外勤、研修、有欠等を決定する際に配分旅費の枠がある事と用務の状況など勘案しなければならないので、本校の場合は遠隔地ということもあり、管理職、事務職、教員全体で協議しながら決定しなければならない事。
<p>取り組みの結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校に勤務し始めた頃は、管理職に聞かれても、なかなか判断できなかったが全体で確認しながら進める事で、スムーズに服務上の取り扱いができるようになってきた。